



2022年2月14日

各位

会社名 ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 兼グループ CEO 小野 有理
(コード番号 6699 東証第一部)
問合せ先 常務執行役員 CFO 徳原 英真
(TEL 06-6302-8211)

特別利益の計上並びに連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第3四半期連結累計期間において下記の通り特別利益を計上いたしましたのでお知らせいたします。

また直近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、2021年11月12日に公表しました2022年3月期通期の連結業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社の連結子会社であるDiamond Electric Mfg. Corporationが米国の新型コロナウイルス感染症に係る雇用保護政策であるPaycheck Protection Program (給与保護プログラム) ローンを申請し借入れしておりましたが、借入金の債務免除条件となっていた雇用保護を目的とする従業員給与等の支払に使用したことにより、第1四半期会計期間の336百万円に加え、新たに222百万円の返済が免除されたものであります。

2. 連結業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 77,000	百万円 1,100	百万円 900	百万円 350	円 銭 49.39
今回発表予想 (B)	75,000	600	600	600	83.83
増減額 (B - A)	△ 2,000	△ 500	△ 300	250	—
増減率 (%)	△ 2.6	△ 45.5	△ 33.3	71.4	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	70,639	2,247	2,470	95	13.90

修正の理由

2022年3月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、自動車機器事業、エネルギーソリューション事業及び電子機器事業で材料の高騰、半導体の不足、電子部品の供給制約が進んだものの、11月までは影響が軽微であった事、また、12月以降の大幅な悪化も前回発表時点に一定程度織り込んでおりましたため、前回発表予想通り進捗しておりました。

しかし、第4四半期会計期間には、12月から続く想定以上の材料高騰、半導体の絶対的な不足、電子部品の供給制約により、エネルギーソリューション事業で引き続き大幅な売上ダウンが見込まれることから、更なる生産調整を行う計画としております。

これらの影響により、前回発表予想の水準には至らないことが予想されるため、通期連結業績予想を下方修正いたします。

以 上